

アジアを「打つ」

～ワークショップと講演・試演会～

音楽を演奏するための身体技法には、文化圏によって様々な違いがあります。本イベントにおいては、アジアの音楽（特に朝鮮とイラン）を対象として、身体運動としての「打つ」という行為が、どのような意味合いでもって行われているのかについてワークショップ・講義・参加型演奏会という3つのプロセスを通して理解を深め、また「演奏行為を契機とする文化研究」の意義について考えることを目的として、以下のワークショップの参加者を募集しています。

募集人数 ※先着順

サントゥール（イランの打弦楽器）3名、トンバク（イランの太鼓）3名、チャンゴ（朝鮮半島の太鼓）10名

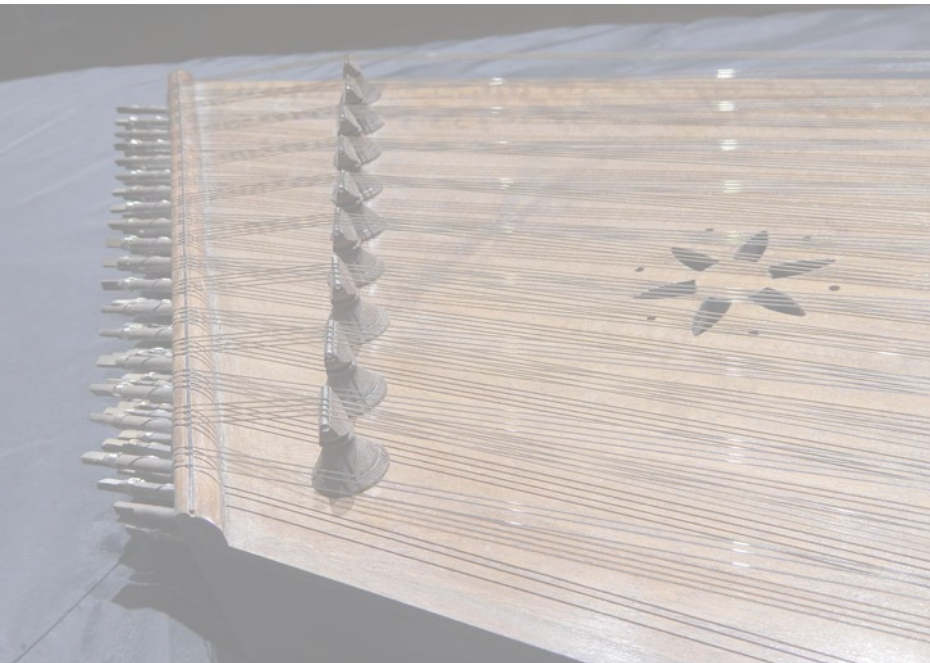
日時：11月13日（日）14:00～18:00 神戸大学鶴甲第2キャンパス C棟106号室（13:30受付開始）

スケジュール

14:00～15:30 それぞれの楽器に分かれてワークショップ

16:00 講師による楽器についての講義

16:45 成果発表会 & 講師による演奏実演



ワークショップ講師

- ・李輔淳（社団法人テハンサラム 研究員）
- ・朴京守（全日本アマチュアサムルノリ連合楽 サムルノリ講師）
- ・蔡怜雄（トンバク・フリー打楽器奏者）
- ・谷正人（神戸大学 人間発達環境学研究科 准教授）

申込み・問い合わせ：

谷正人研究室

tanimasato@people.kobe-u.ac.jp

タイトルに「ワークショップ参加希望」と記入の上、

氏名・学校名（学生の場合）・Email・当日の連絡先（携帯又はEmailアドレス）・希望する楽器（複数ある場合は希望順）をお知らせください。

ワークショップ以外のプログラムについては予約不要です。当日直接お越しください。

